

つたやしのミニネタコーナー

ミニネタ
No.26

相手意識をもって提出させる

子どもたちには日々、実に多くの提出物があります。宿題や授業中のプリント、授業ノート、調査票などの文書…。多くの場合、子どもたちが個人で提出するか、係や担当の子がそれらを集めることになるのですが、先生方はこれらをどのように提出させていますか？

年間にすれば実に何百もの提出物があるはずです。そのたびに子どもたちには「相手意識」をもった行動を指導したいものです。例えば次のようなことです。

①ノートやプリントの向き
多くの場合、集めてチェックなどの作業をするのは担任教師です。担任の教師がすぐに読める向きに提出させましょう。受け取った人が向きを直す手間を省けることを教えます。

②10冊ごとにノートの向きを変えらる

ノートや教科書のような厚い冊子は同一方向で重ねると安定が悪くなります。そこで、10冊ごとに向きを逆にします。安定がよくなるだけでなく、何冊提出されているか一目でわかります。

③時には男女別やグループ別に分けて

グループごとに状況を把握したい時にはこのようにしてもらおうと楽ですよ。

提出した時は、子どもたちにとっては「ひと仕事の終わり」ですが、そこから「もらった人の新たな仕事の始まり」であることを意識できるように指導したいものです。



イラスト | 吉田朋子